



れんごう中越地協

第1020号2019.11.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越地協第13回幹事会

定期総会を前に最終幹事会

連合中越地協は、第13回幹事会を11月6日(水)午後6時30分から長岡市勤労会館で開催した。

この幹事会は、地協定期総会前の最終幹事会。矢島議長は挨拶で「連合新潟第29回定期総会が終了した。方針では、働くことを中心に労働組合の社会的責

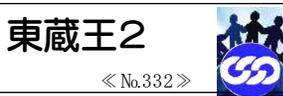
任が増しており、労働組合が社会を変えることをアピールしていくことが伝わった。役員体制も大きく変わっていない。地域協議会の役割は、連合新潟方針を地域の中で具体化していく役割がある。市民団体やNPOとの運動の展開を継承し、さらにバージョンアップ

を力強く進めたい」等の挨拶を述べた。

続いて報告事項が扱われ、連合新潟第29回定期大会関係、長岡市の産業振興に向けたアンケート調査への対応、台風19号に関する連合新潟の対応状況、各支部の活動関係

の報告等があった。続く審議予定事項では、連合新潟第31回女性委員会総会と第31回青年委員会総会へのSJネット委員会との連携、連合新潟第1回地協代表者会議等日程を確認した。続いて、連合中越地協第29回定期総会の任務を決定し、細部は当日の打ち合わせで扱うこととした。また、全国一斉集中相談ダイヤルキャンペーン(12月12日・13日)に向けた街宣行動(11月26日・28日)は、2支部の総会と重なることから、地協で支部エリアを含め行動することとした。

16歳のストックホルムの高校生が、世界を突き動かしている。国連での演説でも注目を浴びた環境活動家グレタ・トゥーンベリさんだ。毎週金曜日、「気候危機」に注目を集めるため、彼女がたった一人ですウエーデンの国会議事堂の前でストライキを始めた▼11歳の時、授業で環境問題の映画を観てショックを受けて摂食障害になった。南太平洋、チリの海岸沖には浮遊プラスチックごみが集まり、その面積がメキシコより大きい島をつくっている。そんな映画を観ることで、彼女が環境問題に関心を持つようになった。そして、アスベルガー症候群と診断された▼グレタさんは環境問題に真剣に取り組むため気候問題の第一人者である大学



議長 矢島良彦

教授に話を聴きに行き、環境問題は欺瞞に満ち溢れていることに気付いた。「権力を握っている人々にはあまりにも長い間、気候と生態系の破壊を止めるための根本的な対策を何もしてきませんでした。私たちの未来を盗み、自分たちの利益のために嘘だらけで逃げ回ってきた世の金持ちのみなさん、私はこのままにはさせないと誓います」グレタさんの真摯な肉声を世界中の多くの人々が称賛している。気候変動を笠に着たビジネスはまっぴらだとして来年7月からレジ袋の有料化がスタートする。サービステイラーは無料ではない。ただほどこ怖いものはないと同時に、レジ袋以外にもプラスチックごみへの関心を高めよう。



連合新潟第29回定期大会が、11月5日(火)10時からANAクラウンプラザホテル新潟で行われ、県内各地から代議員等170人以上が集った。

牧野会長は主催者あいさつで、連合結成30年を迎える大会であることや、大震災の風化を危惧していること、大会で向こう2年間の運動を決定することを述べ、3つの課題として「組織拡大を最優先に取り組み、16万連合新潟復元に向け組織拡大を進める」「安心社会の構築に向け、あ

いまいいな雇用、外国人労働者の課題、最低賃金1000円をめざす」「政治課題は安心して働き暮らせる、あたり前の社会をめざす」等を表明した。

大会には連合本部会長代行や花角県知事等多くの来賓が見え挨拶された。

大会では、2019年度活動報告・財政報告・会計監査報告を全

一致で承認された。続いての審議事項では最初に、会計年度の締日から会計監査実施日までの期間を十分確保することとした。

なお、運動方針では、自治労から厚生労働省の公表した公的病

院の再編統合に関わる件、新潟県財政と給与削減の課題。教職員組合から働き方改革として学校現場に変形労働時間導入の問題。この他にも政治関係の補強意見等が出され、それぞれ執行部から見解が示された。

大会の最後は、牧野会長の団結ガンバロウで大会を閉じた。

17時からは連合新潟結成30周年記念レセプションが、300名超の参加者で賑やかに

第12回委員会総会議案等を決定

連合中越地協SJネット委員会は、11月12日(火)午後6時30分から第12回委員会を開催した。

委員会では、最初に連合新潟青年委員会総会と女性委員会総会や地協幹事会等を報告し

た。次に、第14回SJネット委員会総会議案と任務分担を協議決定した。

また、連合中越第29回定期総会代議員や躍進レセプション参加者を決定した。



演壇

サラリーマン川柳(横たわる 妻をまたげず 遠まわり) (人類の 進化の果てか スマ歩行) (枯れ葉落ち 財布の中味も 冬支度) (二次会で 抜け出しやすい 席をとり)

サラリーマン川柳 (赤い糸 結ばれ今では 金の糸) (忘年会 グツグツ煮える 鍋と腹) (皮下脂肪 資源にできれば ノーベル賞) (イエスマン 昔は上司 今は孫)

神戸からの想いを乗せて中越から被災地へ
 台風19号支援ボランティアバス「おたがいさまバス」を運行します
被災地へボランティアの力を届けよう!

被災地支援ボランティア **募金活動ボランティア** **支援金 募集中!**

台風19号により、栃木県、長野県、福島県など、全国各地で大きな被害が発生しています。
 チーム中越では、過去の災害で全国の方々から支援をいただいた恩返しの意味を含め神戸の被災地
 NGO協働センターと共同でボランティアバス「おたがいさまバス」を運行します。
 被災地で作業を行うボランティアだけでなく、ボランティアバスの運行を支える募金活動のボラン
 ティアや活動支援金も募集しております。皆さん一人ひとりができる形でのご支援をお願い致します。

被災地支援ボランティア募集

ボランティアバスで被災地に行き、被災者が生活を取り戻すための支援活動を行います。
 ボランティア活動には、泥かきや家具の運び出しのような力作業の他に、掃除や家財の整頓、
 困っている方の声を聴くことなど、多様な活動があります。皆さんの力をぜひお貸しください。

活動先：栃木県、長野県、福島県などの被災市町村

参加費：無料 定員：40名(先着順・最少催行人数20名)

ボランティアバス運行予定日：(行先は被災地の状況によって決定します)

11月16日(土)・23日(土)・26日(火)・30日(土)

12月4日(水)・8日(日)・10日(火)・14日(土)・18日(水)

主催：チーム中越/長岡協働型災害ボランティアセンター、被災地NGO協働センター(神戸)

参加条件：高校生以上の方(18歳以下の方は同意書の提出が必要です)

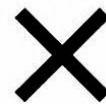
スケジュール：(活動時間は行先によって前後します)

05:45	ながおか市民防災センター集合	16:00	現地出発
06:00	ながおか市民防災センター出発	20:00	ながおか市民防災センター到着・解散
10:00	被災地にてボランティア活動		

申込方法：運行予定日の3日前までに、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、
 活動希望日、災害ボランティア保険加入済か否かを明記の上、
 下記の申込先までメールまたはFAXにて申込み下さい。

行先や持ち物、注意事項などは、以下のHP
 に記載されていますので、必ずHPを確認の
 うえ、お申し込みください。

長岡市社会福祉協議会 ボランティアバス：
<http://www.nagaoka-shakyo.or.jp/>



おたがいさまバスは神戸の皆さん
 からの支援もいただき運行しています

問合せ：

長岡市社会福祉協議会ボランティアセンター

E-mail vc@nagaoka-shakyo.or.jp FAX 0258-32-5210 TEL0258-94-5588

